



# 未来からの手紙



こぐまじゅんこ

ぼくは、今、悩んでいる。

学校に行っても、心を許して話せる友達がない。

なんとなく話をあわせて、あたりさわりのない会話をして、嫌われないようにしているだけだ。

だから、ぼくは、休み時間は、図書室で本ばかり読んでいる。

冒険ものが特に好きだ。

ぼくとは、ちがう活発な男の子が、仲間と無茶なことをしながら、冒険して成長していく物語を読むと、本当に憧れる。

そんなある日、ぼくの家ポストをのぞくと、真っ白い封筒が入っていた。

宛名は

沖田健太様

ぼくだ。誰からだろう。差出人は、

未来のぼく より

と書いている。

えっ、なんだって。びっくりして、ぼくは、手紙を読んでみる。

手紙には、

健太さま。

今のぼくは、結構、しあわせです。

仲間もたくさんいるし、大学で夢に向かって勉強中です。

ちょうど、この手紙を読んでいる頃のぼくは、なんだかつまらない毎日をおくっていたと思います。

親友がない、夢もない、いつもおもしろくないと言っています。

でも、健太、自分から行動を起こさない限り、何も変わらないんだよ。

幸い、ぼくは、いつかそのことに気づくんです。

だから、未来のぼくは、結構、しあわせなんです。

どうやって、変わったかは教えられません。

それは、ぼく自身でみつけることだからです。

ただ、絶対みつかります。

なんてたって、ぼくが、そう言っているのですから・・・。

明日から1歩 ふみだしてください。

では、また。

## 未来のぼくより

と、書かれていた。

ぼくは、なんだかぜんぜん、やる気がでてきた。

そうか、ぼくの未来は、しあわせが待っているんだ。

そうと決まれば、こんな、うじうじと悩んでばかりはいられない。

ぼくは、明日から変わるぞ、と心に決めた。